

# J-GAP 韓国の取り組み

～ 教室での実践と2012年度の活動目標～

松浦恵子(釜山外国語大学校) 榎校裕朗(極東大学校) 奈須吉彦(釜山外国語大学校)  
金庸珏(釜山外国語大学校) 李明姬(新羅大学校) 孫東周(釜慶大学校)  
車尚禹(叡文女子高等学校) 金熙静(釜山広域市教育庁)

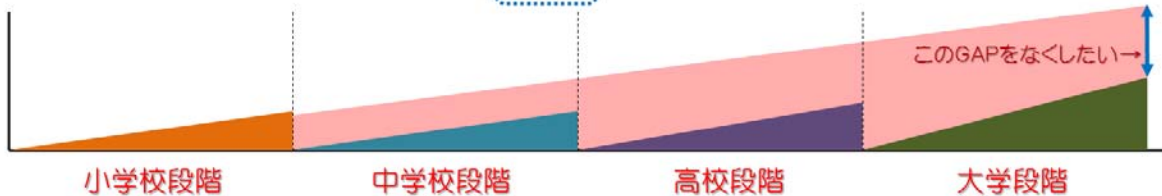
## J-GAPとは?

韓国では主に中等 → 高等

### ★ Japanese Articulation Project

⇒ 国内または越境間の日本語教育機関の **連携** を目指す

10のモデル校  
中学×2、高校×3、大学×5



## 2010年発足後、これまでの活動

- ★ 段階の異なる教育機関の現状を共有
- ★ 2010年にJ-GAP発足後、韓国内外でのアドボケート活動
- ★ モデル校教員担当授業でCan-Doシラバスの作成 & 実践 ⇒ 教える側と学ぶ側が「到達目標」を共有
- ★ 段階の異なる教育機関の教員間でCan-Doシラバスの共有など

## 教室での実践(Can-Doの効果は?)

「MY Can-Do」の  
作り方が難しい。

明確な目標で学習者の  
モチベーションが向上!

文型積上げ式の授業から  
離れられない。

学期前後、授業前後に到達目標とする  
Can-Doの確認作業が重要だ。

「できなかったから」ではなく、「できたから」  
で評価するのはよい。

## J-GAP韓国、2012年度の活動目標

- ◎ 中等教育における日本語教材及び評価のCan-Do化
- ◎ 韓国における日本語接触場面のMY Can-Do作り
- ◎ 連携のためのポートフォリオの草案作成

